

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

12

2024 DEC.

第259号

## 学校長からのメッセージ

### ◆「Education2030 無限大プロジェクト」

2015年、OECD（経済協力開発機構）が「Education 2030」を立ち上げ、“複雑で予測が困難な2030年の世界を生き抜く為に生徒たちにどんな力が必要か、そしてその力をどのように育成するのか”を検討しています。このプロジェクトの一環で、教育について生徒と教師と一緒に考える「無限大プロジェクト」が12月にパリ・OECD本部で開催され、世界中の生徒、教師が集まります。3月に本校を卒業したKさんと本校M教員とは、在学時から今も継続してこのプロジェクトに取り組んで今月、2人でパリへ赴きます。

### ■今、求められている教育

本校はこの「無限大プロジェクト」に共感すると同時に、テーマに向けた過程に意義を見出し、今年度は「特別活動」として、生徒たちが実際に経験したことや感じたことを意見として出し、他者の意見に耳を傾けて議論を重ねています。そしてプロジェクトでの発表のために一つのものにまとめ上げています。この経験は、今まさに教育で求められている“対話的で深い学び”であり、生徒たちが大きく成長する機会となります。

先日は自分たちが過去に小中学校で感じた「学校生活のストレス」についても意見をだしあいました。みんなと一緒にしなければいけない・個性を出せない・制服の細かい指導・学歴主義・先生にやらされている感・主体的な学びの少なさ・理不尽な怒られ方・中には“頑張らないと受け入れてもらえなかった”と、本校が掲げる「命の尊厳」と真逆の経験話も。このような協議を経てZoomで他校や外国の生徒（本校はポルトガル）と交流して共創し、パリで発表します。

### ◆YMCAが行う様々な活動を活かしてほしい

11月はアジア学院（アジア・アフリカの農村指導者養成校）に協力してホームステイ提供やフィールドワークに同行。1月にはソウルYMCA協力によりスタディツアーなど、年間を通してYMCAならではの催しが様々あります。あなたも一歩踏み込んではどうでしょうか。きっと人生を変えるほどの経験が待っています。

(校長 鍛冶田千文)

※無限大プロジェクトやアジア学院プログラムは、皆様のクリスマス献金から支援を頂いています。国際協力・地域奉仕のためのクリスマス献金にご協力を宜しくお願いします。

いと高きところには、栄光、神にあれ。地には平和、御心に適う人にあれ

(ルカによる福音書2章8~14節)





# 今月の聖句

そのとき、主はヨシュアに言われた。

「見よ、わたしはエリコとその王と勇士たちをあなたの手に渡す。」  
(ヨシュア記 6章2節)

エジプトを出て旅を続けていたヨシュアとイスラエルの人々がカナンの土地に入ります。初めに戦うのは、エリコの町です。この戦いは「私はあなたの神あなたの父あなたを養い導きあなたとともにいる神である」ということを示される神様の戦いでした。そこでイスラエルの人たちに求められたのは一つ、神様を信頼し従うことだけでした。

エリコは二重の城壁を持つ丈夫な場所でした。しかし、神様は「見よ、わたしはエリコとその王と勇士たちをあなたの手に渡す。」と言われます。人の目には無理と思われることも、神様はおできになります。そしてそれを誰の手でもなくイスラエルの手に託して下さいました。神様は私たちが考えられない課題を私たちに託されることがあります。

神様は不思議な方法を示されました。「兵士は皆、町の周りを回りなさい。町を一周し、それを六日間続けなさい。」「七日目には、町を七周し・・・。」ここに出てくる数字が7です。神様が世界を造られたときも7日間でしたね、これも神様の戦争ということですね。最後に角笛を吹き鳴らし、鬨の声を上げると城壁が崩れ落ちるという約束です。鬨の声とは、戦闘に向かう時、勝利した時にあげる声です。彼らはその通りにしたら、エリコはイスラエルの手に完全に渡りました。

皆さんのエリコは何でしょうか、目の前にあるエリコの城壁は何でしょうか？

私達の前に置かれている仕事や人間関係、様々な出来事、大変な問題が目の前にあっても、くじけないで、あきらめないで主の時を待ち続けたいと思います。神様は必ず私達を通して解決して下さいます。神様の約束を信じ忍耐をもって、ただ神様を信じ従い続けるということです。

その問題から遠くに逃げないで、主の約束を信じましょう。

(日本キリスト教団 長居教会 朴志暎牧師)

